



北郷 伯弘 議員

水稲用力カメムシ防除剤 補助金単価の見直しは？

町長／補助等の在り方を検討

北郷：近年、出荷される米の検査等級2等以下の格付けが増加しております。理由として多いのがカメムシ被害の多発による着色粒となっております。

カメムシ防除については、個人防除が主流となっていますが、効果的な防除が必要とされており、JA福島さくら農業協同組合においては、無人ヘリコプターによる斑点米カメムシ類防除薬剤散布

を実施するため、希望者を募り取りまとめを行っています。これに対し町では支援策として広野町営農再開支援事業防除剤等補助金により費用の一部助成を行っていますが、高齢の農家や作付面積の少ない生産者にとっては、防除剤の補助単価が少なく積極的な活用にはなっています。い状況であります。

補助金の見直しを行い、農家が積極的に防除を行い、防除面積を増やし、出荷される米

の等級格付けを上げ、家の収益増加を図ることが必要であると考えます。町長の考えを伺います。

町長：農家の収益増加を図るため、飼料用米の団地化など担い手農家と連携し、丁寧に意見を聴取し、補助支援補助等の在り方にについて検討し、米の検査等級による品質確保に取



無人ヘリコプターによるカメムシ類防除薬剤散布

もんま
門馬 まりえ 議員

帯状疱疹ワクチン 接種費用の助成は？

町長／厚労省の検討を注視

門馬：帯状疱疹は水痘・帯状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みや発疹などが起こる病気です。

50歳以上的人は帯状疱疹ワクチン接種の接種対象とされており、接種することで発症の予防効果や発症した場合の症状を軽くする効果が期待できます。一部助成している自治体もあります。

町として予防接種法に基づかない任意の予防接種ですが接種費用の一部助成を検討していただけますか伺います。

町長：**带状疱疹のワクチン接種については、現在、厚生労働省における厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で定期接種化の是非を議論しております。町は、本審議会の検討を注視し、定期接種に位置づけられた場合**



総合健診の様子

特定健診・特定保健指導 生活習慣の改善は？

町長／指導終了者全員が改善

門馬：2008年からメタボリック症候群の概念を導入した特定健診及び特定保健指導が実施されました。

不適切な食生活や運動不足等の不健康な生活习惯が生活習慣病の発症を招き、その後重症化していくため、早い時期から町民の生活改善に向けた積極的普及啓発を一体的に行うことによって生活習慣病の予防対策に取り組むことになりました。

そこで伺います。**2008年に特定健診を受診し、メタボリックシンドロームを有する者は何名でしたか。**

門馬：保健指導による早期介入実施者は、動機づけ支援者が4名、積極的支援者が1名です。

門馬：その結果、生活習慣の改善は何名ありましたか。

町長：食事改善や運動習慣等の生活習慣の改善がみられた方は、特定保健指導を終了した5名全員です。